

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年1月10日

協議会名: 中野市地域公共交通対策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
長電バス株式会社	立ヶ花線 中野駅⇄立ヶ花駅	・利用促進を図るため、市内全世帯、基幹病院、飯山駅、信州中野駅等への「交通マップ/時刻表」の配布や小学生を対象とした「バスの乗り方教室」等を行った。	A ・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B ・事業が計画に位置付けられた目標を達成しなかった。 【1日あたり利用者数】 目標…22.0人 実績…21.1人	・JR飯山線の利用者が減少していることや沿線住民の人口減少を受け、当路線の利用者も減少傾向であることが、目標を達成できなかった原因であると思われる。 ・広報等を通じ利用促進を図るとともに、目標値やダイヤの見直しについても検討する。
中野市	ふれあいバス間山線 温泉公園⇄市役所	・利便性の向上を図るため、H30年10月にルート及び運賃の見直しを行った。 ・利用促進を図るため、市内全世帯、基幹病院、飯山駅、信州中野駅等への「交通マップ/時刻表」の配布や小学生を対象とした「バスの乗り方教室」等を開催した。 ・新規利用者の獲得に向けて、H30年10月～H31年3月まで月約2回、無料デーを実施した。	A ・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A ・事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 【1日あたり利用者数】 目標…16.0人 実績…23.7人	・利用者負担の軽減及び新規利用者確保のため、運賃の見直し(減額)を行っている。 ・目標を達成しているが、引き続き広報等を通じ、PRIに努める。
中野市	ふれあいバス倭・科野地区 岩井東⇄市役所	・利便性の向上を図るため、H30年10月にダイヤ及び運賃の見直しを行った。 ・利用促進を図るため、市内全世帯、基幹病院、飯山駅、信州中野駅等への「交通マップ/時刻表」の配布や小学生を対象とした「バスの乗り方教室」等を開催した。 ・新規利用者の獲得に向けて、H30年10月～H31.3まで月約2回、無料デーを実施した。	A ・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B ・事業が計画に位置付けられた目標を達成しなかった。 【1日あたり利用者数】 目標…10.0人 実績…9.5人	・利用者負担の軽減及び新規利用者確保のため、運賃の見直し(減額)を行っている。 ・目標は達成できなかったが、利用者数は昨年と比較して堅調に推移しているため、この推移を維持できるように、引き続き広報等を通じ、PRIに努める。

中野市	ふれあいバス豊田地域 三俣⇄上今井	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性の向上を図るため、H30年10月にダイヤ等の見直しを行った。</li> <li>・利用促進を図るため、市内全世帯、基幹病院、飯山駅、信州中野駅等への「交通マップ／時刻表」の配布や小学生を対象とした「バスの乗り方教室」等を開催した。</li> <li>・新規利用者の獲得に向けて、H30.10～H31年3月まで月約2回、無料デーを実施した。</li> <li>・住民の意識改革を図るため、地元説明会を実施した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が計画に位置付けられた目標を達成しなかった。</li> <li>【1日あたり利用者数】 目標…5.0人 実績…4.2人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利便性の向上及び新規利用者の確保のため、新規停留所の設置や、一部フリー乗降区間の設定などを実施している。</li> <li>・目標は達成できなかったが、利用者数は昨年と比較して堅調に推移しているため、この推移を維持できるように、引き続き広報等を通じ、PRに努める。</li> </ul>
中野ハイヤー株式会社 株式会社山田タクシー 長電タクシー株式会社 (共同運行)	お出かけタクシー 中野・高丘・平野・延徳地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用促進を図るため、市内全世帯、基幹病院、飯山駅、信州中野駅等への「交通マップ／時刻表」の配布、「予約お願い券」の発行、老朽化した停留所の整備を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が計画に位置付けられた目標を達成しなかった。</li> <li>【1日あたり利用者数】 目標…3.0人 実績…2.9人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の微減に加えて、利用者0の運行日が見受けられるようになってきた。今までの利用者が利用しなくなっている恐れがあるため、新規利用者の獲得に向けたPRを行う必要がある。また、効率的な運行に向けた運行便数の見直しを検討していく。</li> </ul>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和2年1月10日

協議会名:	中野市地域公共交通対策協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>生活交通確保維持改善計画では、中野木島線、上林線、菅線(旧菅・角間線)、合庁線、永田線を基幹バス路線と位置付け、立ヶ花線、ふれあいバス、お出かけタクシーは枝線バス路線と位置付けている。枝線バス路線は、集落内を細かく回り、自宅近くから目的地若しくは、鉄道、基幹バス路線へアクセスし、利用目的は、通勤・通学・通院・買物と多岐にわたる。1便当たりの平均利用者数は決して多くはないが、日常生活的な生活の足としている利用者がいる。</p> <p>児童・生徒や高齢者等のマイカーを持たない人にとっては、生活の足として必要不可欠な路線であり、タクシー以外の代替する公共交通手段が存在しないことから、立ヶ花線、ふれあいバス、お出かけタクシーを「地域内フィーダー」と位置付け、確保・維持して行く必要がある。</p> <p>タクシー以外の公共交通を利用したくても、近くに駅やバス停がなく利用できない「利用不便地域」の解消を目指し、児童・生徒や高齢者等の中心市街地への移動支援を基本とし、「利用しようと思えば利用できる環境」を構築することを目的とする。</p>